

入間野小学校平成28年度前期学校評価

*a(4点) b(3点) c(2点) d(1点) として点数化

*3.4点以上はA 2.8点以上～3.4点未満はB 2.8点未満はC



NO	項目	教職員	児童	保護者
1	児童は、相手に届く声で話している。	B 2.8	B 3.3	B 3.3
2	児童は、文字を丁寧に書いている。	C 2.7	B 2.9	B 2.8
3	児童は、進んで家庭学習に取り組んでいる。	B 2.9	B 3.1	B 2.9
4	児童は、自分から目を見て挨拶をしている。	B 2.9	B 3.3	B 2.9
5	児童は、「オアシスご」を使っている。	B 3.1	A 3.4	B 2.9
6	児童は、集団のために活動に取り組んでいる。	B 2.9	B 3.2	B 3.2
7	児童は、あきらめずに最後まで取り組んでいる。	B 3.2	A 3.4	B 3.1
8	児童は、進んで運動に取り組んでいる。	B 3.2	A 3.4	B 3.3
9	児童は、いざという時の行動の仕方が分かっている。	B 3.0	A 3.8	B 3.1
10	学校は、計算や漢字などの基礎基本を身につけさせている。	B 3.3	A 3.6	A 3.4
11	学校は、自ら考える力をつけている。	B 2.9	A 3.6	B 3.1
12	学校は、安心して過ごせるあたたかな学級をつくっている。	B 3.0	B 3.2	B 3.2
13	学校は、規律ある態度を身につけさせている。	A 3.4	A 3.5	B 3.3
14	先生は、困ったときに相談に乗ってくれる。	B 3.2	A 3.5	B 3.3
15	学校は、体力を向上させるための環境づくりに取り組んでいる。	B 3.2	A 3.7	B 3.3
16	家庭では、健康診断の結果を子供たちの健康管理に生かしている。	B 3.1	B 3.2	B 3.2
17	学校は、美しい環境を保持している。	B 3.0	A 3.4	B 3.2
18	学校は、教育活動を充実させるため、地域や保護者の支援を生かしている。	B 3.2	A 3.7	B 3.3
19	学校は、学年・行事等の会計の処理管理を適切にしている。	B 3.3		A 3.6
20	職員は、意図的・計画的に学年・学級経営を進めることができた。	B 3.1	※以下は、教職員の自己評価結果をお知らせしています。	
21	職員は、校内研修に意欲的に取り組み、自己研鑽に努めた。	B 3.3		
22	職員は、報告、連絡、相談を密にし、意欲的に職務遂行に取り組んだ。	A 3.5		

後期に向けた教育活動改善策

アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。保護者の方のアンケート回収率は、94.1%でした。夏季休業中、この結果や各種学力調査を分析し、以下の「2学期の教育活動改善施策」を立案しました。

I 届く声で話せる児童の育成(①は、1年生の改善策です。)

- ①話し方の基本を教える。②朝のスピーチを大切にする。③④グループでの話し合いを取り入れる。
⑤発表しやすい発問を工夫し、聴く姿勢も指導する。⑥相手や空間を意識して話せるよう指導する。

II 丁寧に文字を書くことができる児童の育成・・・まずは、机を整理して書けるような指導を行う。

- ①連絡帳のノート指導の時間を設定する。②④⑥掲示物等、人に見せられる文字を書けるようにする。
③④⑥筆記用具から整えさせる。③⑤⑥決められた時間内に早く丁寧に書く指導をする。

III 学年・学級経営等

- 学年ドッチボール大会等を自分たちの力で計画させ、学級が楽しいと思えるような経営を継続する。
○正しいことがしっかり通るような学級づくりを引き続き行う。
○家庭学習については、「家庭学習の手引き」を利用して指導し、家庭で習慣化できるようにする。